

令和3年度

生徒指導上の諸課題の状況について

令和4年10月

香川県教育委員会

義務教育課・高校教育課・特別支援教育課・総務学事課

1 令和3年度における諸課題の状況の概要（国公立）

暴力行為の発生件数	494件（前年度 420件）	*	+74	（17.6%増）
いじめの認知件数	3,538件（前年度 3,031件）	*	+507	（16.7%増）
不登校児童生徒数	1,866人（前年度 1,496人）	*	+370	（24.7%増）
中途退学者数	207人（前年度 219人）	*	-12	（5.5%減）

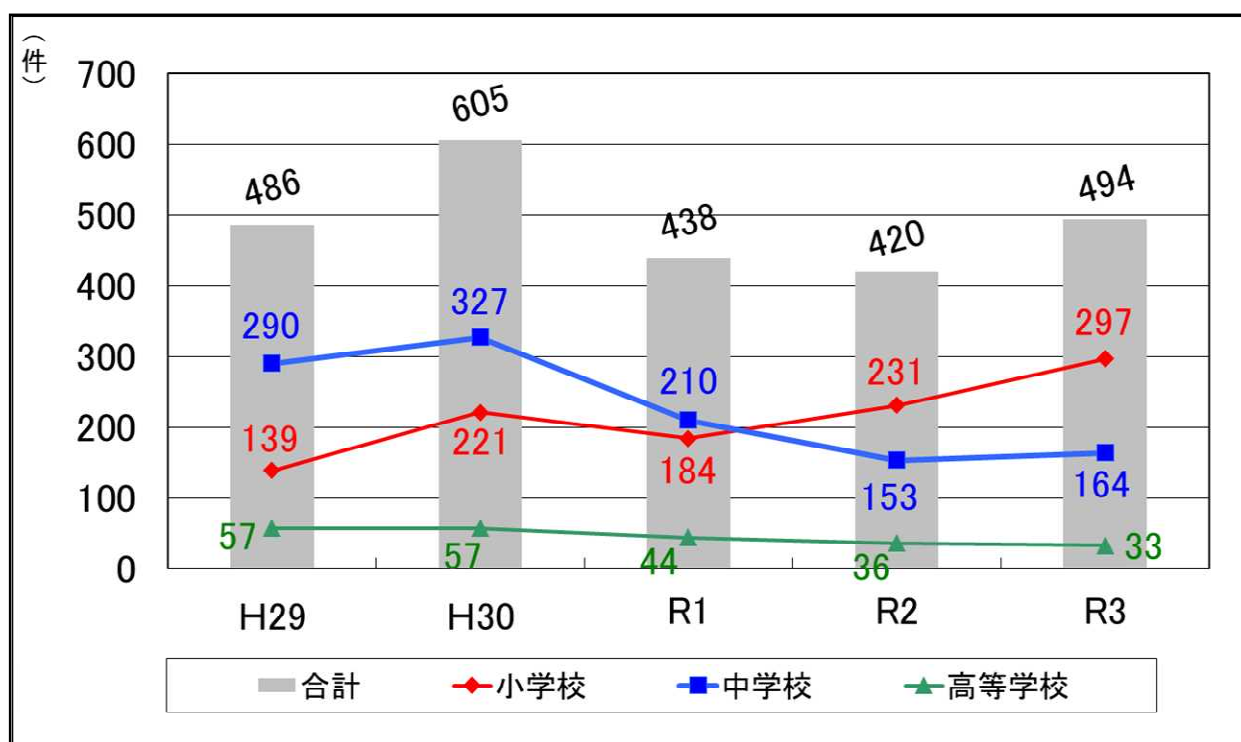
2 暴力行為

<表1> 暴力行為発生件数の前年度比較

年度	小学校		中学校		高等学校		計	
	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
発生件数	231件	297件 (66)	153件	164件 (11)	36件	33件 (▲3)	420件	494件 (74)

※（ ）内の数は、令和2年度と比較した増減数を表す。なお、▲は減少を表す。

<グラフ1> 暴力行為発生件数の推移



※ 平成26年度以前は、都道府県別に校種別の発生件数を公表されていない。

※ 暴力行為については、平成27年度に、対象となる行為等の程度が広がり、「激高して教師の足を蹴った」などの文部科学省が示す例と「同等」のものも含むといった変更があった。

国公立小、中、高等学校における暴力行為の発生件数は494件で、前年度の420件より74件（17.6%）増加している。各校種別にみると、前年度と比べ、小学校では66件増加、中学校では11件増加、高等学校では3件減少している。1,000人当たりの発生件数は、小学校が6.0件（全国7.7件）、中学校が6.4件（全国7.5件）、高等学校が1.3件（全国1.2件）、合計が4.9件（全国6.0件）となっている。

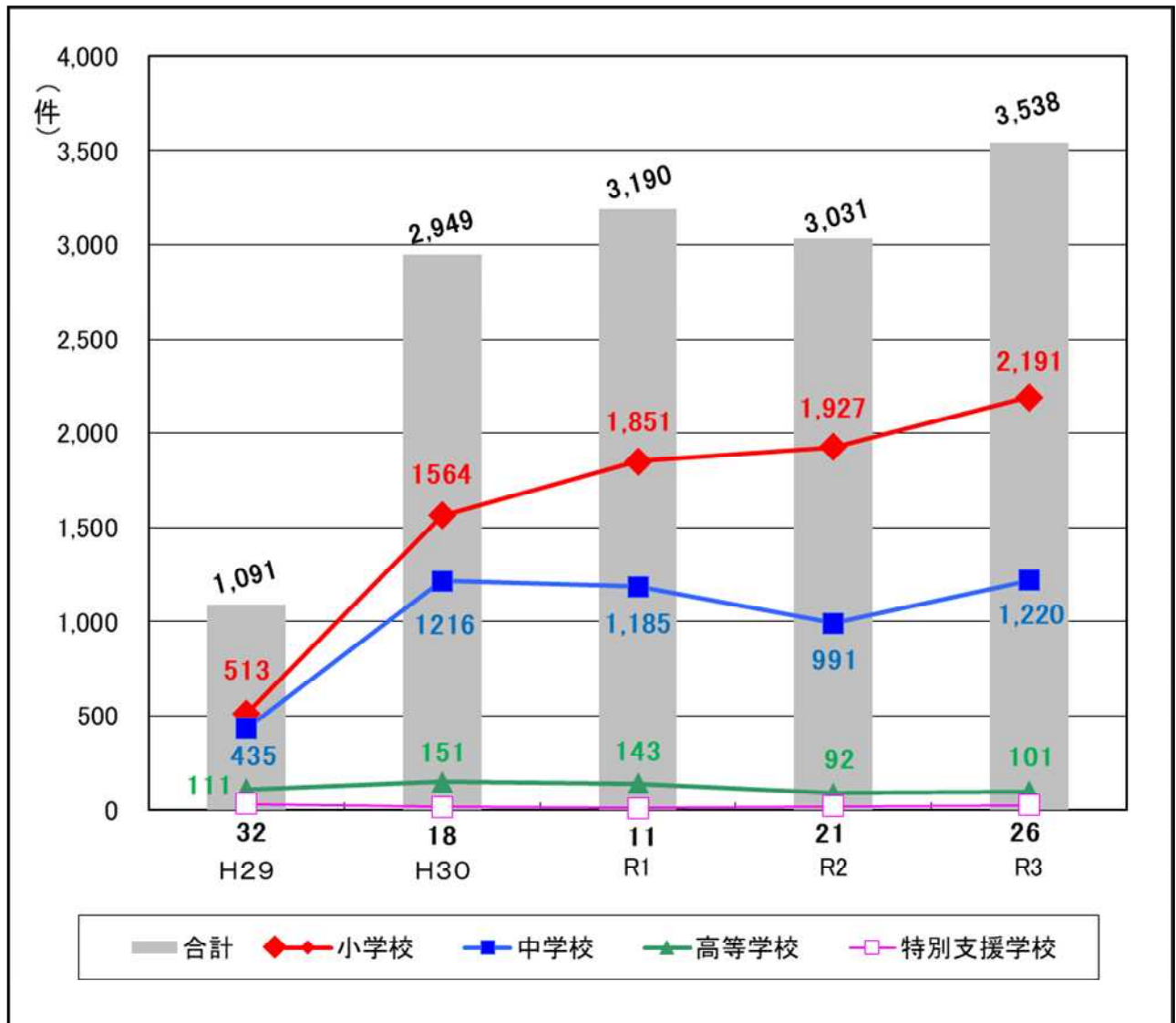
3 いじめ

＜表2＞ いじめ認知件数の前年度比較

年度	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
認知件数	1,927件	2,191件 (264)	991件	1,220件 (229)	92件	101件 (9)	21件	26件 (5)	3,031件	3,538件 (507)

※ () 内の数は、令和2年度と比較した増減数を表す。

＜グラフ2＞ いじめ認知件数の推移



国公立小、中、高等学校、特別支援学校におけるいじめの認知件数は3,538件で、前年度より507件(16.7%)増加している。各校種別にみると、前年度と比べ、小学校で264件増加、中学校で229件増加、高等学校で9件増加、特別支援学校で5件増加となっている。1,000人当たりの認知件数は、34.8件(全国47.7件)となっている。

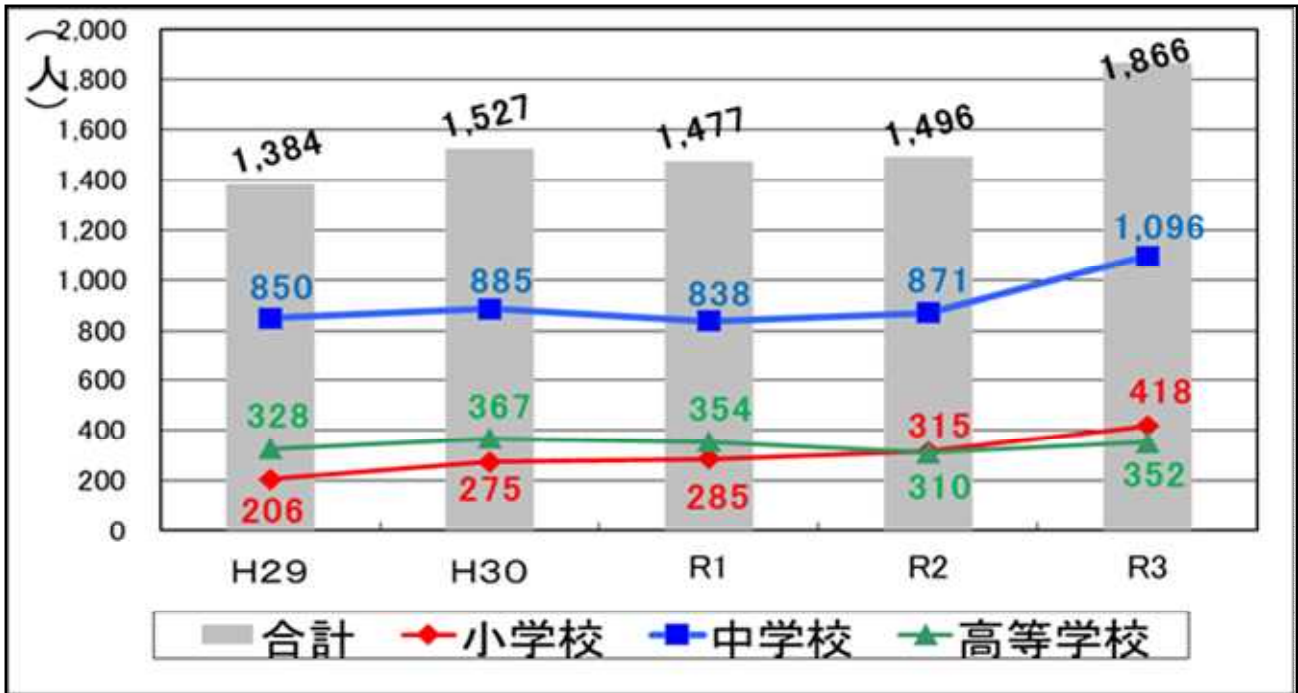
4 不登校

＜表3＞ 不登校児童生徒数の前年度比較

年度	小学校		中学校		高等学校		計	
	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度
不登校児童生徒数	315人	418人 (103)	871人	1,096人 (225)	310人	352人 (42)	1,496人	1,866人 (370)

※ ()内の数は、令和2年度と比較した増減数を表す。

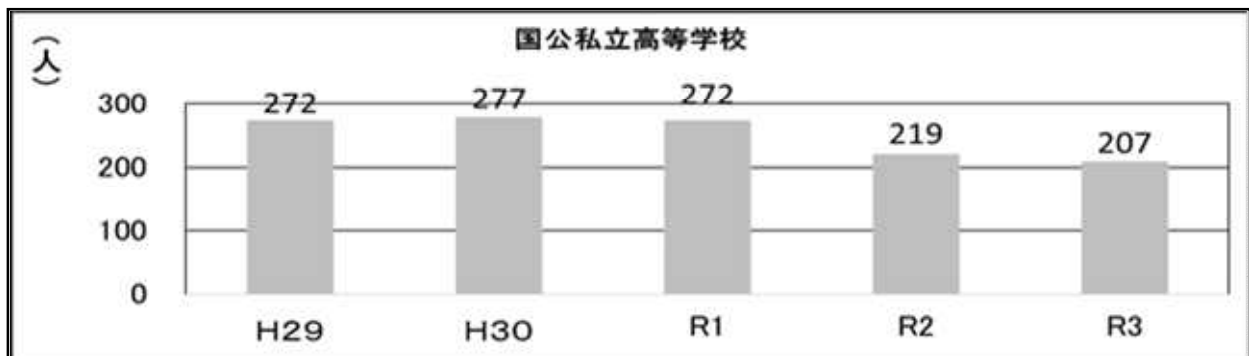
＜グラフ3 不登校児童生徒数の推移＞



国公立小、中、高等学校において、年間30日以上欠席した不登校児童生徒数は、1,866人で、前年度より370人(24.7%)増加している。各校種別にみると、小学校では103人増加、中学校で225人増加、高等学校で42人増加している。1,000人当たりの不登校児童生徒数は、小学校が8.5人(全国13.0人)、中学校が42.8人(全国50.0人)、高等学校が14.4人(全国16.9人)となっている。

5 高等学校中途退学

＜グラフ4＞ 中途退学者数の推移

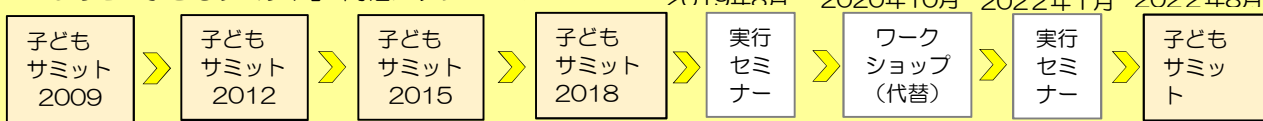


国公立高等学校における中途退学者数は、207人で、前年度の219人より12人減少した。中途退学率(中途退学者の在籍者数に占める割合)は、0.8%(全国1.2%)である。

2022年度 生徒指導上の諸課題の未然防止等に向けた事業体系



「いじめゼロ子どもサミット」開催スケジュール



◎セミナー、サミットに参加した児童・生徒を中心に、各学校で、毎年11月を「いじめゼロ強調月間」として活動。